

中学生防災通信ボランティア平成29年度第2回訓練

日時 平成29年12月17日(日)
午後1時30分～

場所 幡豆いきいきセンター
つつじホール

1 挨拶

2 第2回通信訓練の説明

- ・トランシーバについて説明
- ・特別小電力トランシーバーで4組(8班)に分け送受信訓練実施
- ・1～4班は、幡豆中学校に移動して伝達訓練
- ・訓練 想定：避難所に怪我人が搬送されてきた。その人の名前を正確に伝えるため和文通話表を使用して本部に伝える

3 いきいきセンター避難所防災倉庫内資機材の見学

- ・保管無線機実機の確認とトランシーバの取扱説明
非常通信の場合は、生命が大切なので制限がない
- ・1～4班、5～8班の2回に分けて見学

4 通信訓練実施

- ・特別小電力トランシーバを使用
- ・「いきいきセンター」から離れた場所と情報伝達訓練

* 怪我人の名前を始まるまでに考え、訓練内容の避難所、怪我人の欄に名前を記入する

自分の班名 ()

5 防災ビデオ

「温暖化時代の豪雨災害」 ～その時 あなたは身を守れるか?～

6 その他

次回の訓練(第3回)の予定 3月18日(日)or25日(日)

記念集合写真

○ 通信訓練

トランシーバについて

- ・電力の大きなものを使用するのは無線従事者免許がいる
- ・免許のいないものは、電波の届く範囲がせまい。
- ・非常通信の場合は、生命が大切なので制限がない。

トランシーバーによる通信

- ・片通話である。携帯電話と違う。糸電話と同じ。
- ・PTTボタンを押しながら話す。PTTボタンを離して聞く。

PTT(Push To Talk)

- ・「どうぞ」と「おわり」が必要

通信をするとき

- ・はっきり落ち着いて話す。
- ・すぐには聞きなおせないなので、わからなかったところがあれば、そこを覚えておく。
- ・トランシーバのMIC部分に口を近づける(離すとエコーがかかったような声になる)
- ・一度に多く話さない。
- ・特に語尾をはっきり言う。また子音は伝わりにくいのではっきり言う。
- ・誰が誰と話しをしているかがわかること。
- ・訓練のときは、必ず「**訓練**」の言葉を言う。

訓練内容

避難所 「本部、本部、こちらは()避難所の()です。
感度いかがですか? どうぞ」

本部 「()さん、こちらは()です。
(感度の状況を伝える) どうぞ。」

- 感度の状況
- ・感度良好です。
 - ・少し雑音が入りますが、わかります。
 - ・雑音が多くて聞きづらいです。
 - ・ほとんど、了解できません。もう一度お願いします。

避難所 「〇〇さん、それでは〇〇避難所から、本部へ怪我人の報告がありますので、送っていいですか? どうぞ」

本部 「送ってください。どうぞ」

避難所 「**訓練** こちらは、〇〇避難所の〇〇です。 怪我人の名前は、
以上です。どうぞ」

*名前を和文通話表を使って説明する。

本部 「了解しました。復唱します。
「**訓練** こちらは、〇〇避難所の〇〇です。 怪我人の名前は、
これでいいですか? どうぞ」

*名前を和文通話表を使って説明する。

避難所 「間違いありません。こちらは〇〇避難所でした。おわり」

本部 「 さん 了解しました。おわり」

*参考 名前説明の例

ハズタロウの場合

「ハズタロウで、はがきのハ、すずめのスに濁点、煙草のタ、ローマのロ、上野のウ、ハズタロウです。」

別表第五号 通話表(第14条関係)

1 和文通話表

文字				
ア <small>あさひ</small> 朝日のア	イ いろはのイ	ウ <small>うえの</small> 上野のウ	エ <small>えいご</small> 英語のエ	オ <small>おおさか</small> 大阪のオ
カ <small>かわせ</small> 為替のカ	キ <small>きつて</small> 切手のキ	ク クラブのク	ケ <small>けしき</small> 景色のケ	コ <small>こども</small> 子供のコ
サ <small>さくら</small> 桜のサ	シ <small>しんぶん</small> 新聞のシ	ス すずめのス	セ <small>せかい</small> 世界のセ	ソ そろばんのソ
タ <small>たばこ</small> 煙草のタ	チ ちどりのチ	ツ つるかめのツ	テ <small>てがみ</small> 手紙のテ	ト <small>とうきょう</small> 東京のト
ナ <small>なごや</small> 名古屋のナ	ニ <small>にっぽん</small> 日本のニ	ヌ <small>ぬまず</small> 沼津のヌ	ネ ねずみのネ	ノ <small>のほら</small> 野原のノ
ハ はがきのハ	ヒ <small>ひこうき</small> 飛行機のヒ	フ <small>ふじさん</small> 富士山のフ	ヘ <small>へいわ</small> 平和のヘ	ホ <small>ほけん</small> 保険のホ
マ マツチのマ	ミ <small>みかさ</small> 三笠のミ	ム <small>むせん</small> 無線のム	メ 明治のメ	モ もみじのモ
ヤ <small>やまと</small> 大和のヤ	—	ユ <small>ゆみや</small> 弓矢のユ	—	ヨ <small>よしの</small> 吉野のヨ
ラ ラジオのラ	リ りんごのリ	ル るすいのル	レ れんげのレ	ロ ローマのロ
ワ わらびのワ	キ <small>き</small> むどのキ	—	エ かぎのあるエ	ヲ <small>をわり</small> 尾張のヲ
ン おしまいのン	ゝ <small>だくてん</small> 濁点	゜ <small>はんだくてん</small> 半濁点		
数字				
一 <small>すうじ</small> 数字のひと	二 <small>すうじ</small> 数字のに	三 <small>すうじ</small> 数字のさん	四 <small>すうじ</small> 数字のよん	五 <small>すうじ</small> 数字のご
六 <small>すうじ</small> 数字のろく	七 <small>すうじ</small> 数字のなな	八 <small>すうじ</small> 数字のはち	九 <small>すうじ</small> 数字のきゅう	〇 <small>すうじ</small> 数字のまる
記号				
一 <small>ちようおん</small> 長音	、 <small>くぎりてん</small> 区切点	└ <small>だんらく</small> 段落	（ <small>したむきかつこ</small> 下向括弧	） <small>うわむきかつこ</small> 上向括弧

注 数字を送信する場合には、誤りを生ずるおそれがないと認めるときは、通常の発音による。(例「1500」は、「せんごひやく」とする。) か又は「数字の」の語を省略する(例「1500」は、「ひとごまるまる」とする。)ことができる。

「使用例」

- 「ア」は、「朝日あさひのア」と送る。
- 「バ」又は「パ」は、「はがきのハだくてんに濁点」又は「はがきのハはんだくてんに半濁点」と送る。